

## あとがき

2年計画で児童生徒が「経験から考え、行動する力」を高める授業づくりを主題として研究に取り組んできました。

1年目のサブテーマを「キャリア教育全体計画を活用して」としました。卒業後を見据えて小・中・高段階で児童生徒が経験すべき内容を精選し、児童生徒が人と関わりながら主体的に取り組める方法や教師の支援の手立てを吟味して授業改善を図る中で、すすんで人と関わりながら意欲的に取り組む児童生徒の姿が増えてきました。2年目の今年度はサブテーマを『「何を学んだか」「何ができるようになったか」という視点を通して』とし、いつでも、どこでも発揮できる「本物の力」の育成を目指し、授業内容の検討と授業評価の工夫を重ねたことで児童生徒の成長があったと手応えを感じることができました。2年間の研究で一人一人にどのような力を育てるのかを明確にした実態把握が大切だと再認識しました。

秋田大学教育文化学部講師鈴木徹氏より公開研究会シンポジウムで関係発達の視点で子どもを理解していくことの大切さをお話しいただきました。県総合教育センター主任指導主事村松勝信氏 指導主事近江龍静氏 指導主事牧野幸枝氏には1年間にわたり何回も授業参観をしていただき御指導御助言を賜りました。教科に関する校内研修会では指導主事椎名美穂子氏 指導主事藤谷寛氏より御指導いただくことができました。改めてお礼申し上げます。

次年度は新たなテーマの基研究を深めてまいります。今後とも御指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成31年3月

教頭 跡部 咲子

